

落語娘 (2008)

メディア 映画
ジャンル コメディ ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 109分
初公開日 2008/08/23
公開情報 日活

【キャッチコピー】

とっておきのハ・ナ・シを、
お聞かせします。

女落語家と異端の師匠が挑む、一世一代の大勝負！笑いと感動、これぞ落語エンタテインメントの真骨頂！

【解説】

男社会の落語の世界に飛び込んだヒロインと破天荒な師匠が繰り広げるユーモラスな人間模様を描くエンタテインメント・ムービー。主演は「着信アリ2」「この胸いっぱいのお愛を」のミムラ、共演に津川雅彦。監督は「櫻の園」「12人の優しい日本人」の中原俊。

幼い頃に落語と出会い、虜になった香須美。大学で学生コンクールを総ナメにする実績を引っ提げ、憧れの三松家柿紅の門を叩いた彼女だったが、女を理由に門前払い。そんな時、香須美を拾ってくれたのが今の師匠、三々亭平佐。その型破りな言動が、伝統を重んじるお歴々の不興を買っている落語界の問題児だ。テレビ出演時の不祥事がもとで、もっか寄席も出入り禁止。おまけに、一度も稽古を付けてくれないばかりか、弟子の香須美に遊びの金をせびるていたらく。それでも二ツ目目指して日々奮闘する香須美。そんなある日、平佐が起死回生を狙って禁断の演目“緋扇長屋”に挑むと宣言して業界を騒然とさせる。それは、高座にかけた噺家が次々と急死し、以来長年封印されている日く付きの怪談。テレビ局が持ちかけたオカルト企画にホイホイ乗っかる平佐に対し、周囲の風当たりが強まる中、ひとり師匠の身を案じる香須美だったが…。

【クレジット】

監督	中原俊	
原作	永田俊也	『落語娘』（講談社）
脚本	江良至	
撮影	田中一成	
美術	松宮敏之	
音楽	遠藤浩二	
主題歌	JiLL-Decoy association	『一途な星』
照明	東田勇児	
落語監修	柳家喬太郎 隅田川馬石 柳家喬之助	
出演	ミムラ 津川雅彦 益岡徹 伊藤かずえ	三々亭香須美 三々亭平佐 三松家柿紅 古閑由加里

森本亮治
利重剛
なぎら健壱
絵沢萌子
春風亭昇太
ベンガル
藤本七海
金田龍之介
笑福亭純瓶
峰岸徹

清水和也
藤崎秀行
寄席の常連さん
石田登志子

(特別出演)

Bengaru